

平成25年度前期芦安中学校学校関係者評価書

平成25年9月10日

芦安地区学校関係者評価委員会

委員長 松本 賢司



1 経過

○第1回芦安地区学校関係者評価委員会

〔日時〕平成25年8月30日（金）19時40分～21時00分

〔場所〕芦安中学校多目的ホールにて

2 参加者

No.	氏名	役職名	備考	
1	秋山 栄男	芦安子を守る会会長		
2	伊東 隆雅	芦安地区保護司 白雲荘経営		
3	清水 准一	NPO法人芦安ファンクラブ事務局長 清水工設社長		
4	清水 実	南アルプス市議会議員		
5	松本 賢司	芦安小中学校PTA会長	委員長	
6	森本 章雄	芦安地区学校応援団代表		
7	浅川 孝夫	芦安小学校	校長	
8	竹内 幸人		教頭	事務局
9	河住 悦久		教務主任	
10	中込 幸二	芦安中学校	校長	
11	小尾 一彦		教頭	事務局
12	中嶋 恵		教務主任	

3 学校側から提案された内容

〔前期中学校自己評価の分析と改善方策〕

- (1) 前期（7月）教職員アンケート結果
- (2) 前期（7月）生徒アンケート結果
- (3) 芦安中学校前期自己評価書

4 協議された主な内容

- (1) 前期アンケート結果への質疑
- (2) 自己評価の結果の内容についての検証

- (3) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策についての検証
- (4) 今後の芦安地区の教育のあり方について

5 評価委員会で出された主な意見

(1) 芦安中学校の前期学校評価について

- ・積極性が足りないということだが、ただ素直だけではだめである。間違っている授業中に手をあげたり、意見を言ったりできるように指導していただきたい。
- ・新聞配達についてどうするかという意見は持ち合わせていないが、学校生活に支障がないか心配である。
- ・新聞配達については、保護者がサポートしなければならないこともあるが、基本的に子どもたちが責任を持ってやっており、地域に対する半ボランティア的な活動である。保護者も新聞配達があることで、子どもたちの生活習慣が規則正しくなっていることを実感している。新聞配達については、保護者は評価している。
- ・課題をかかえている子にはこれからもきめ細かい対応をしてほしい。

(2) 今後の小中学校教育の推進について

- ・数年前に芦安小中学校の存続のために、小中一貫校のことを市にお願いした。今後も小中連携は、しっかりやってほしい。

(3) その他

- ・他地域から通っている子どもの保護者と地元の保護者のコミュニケーションはよくとれている。新緑やまぶき祭（PTA 焼きそば店）や育成会行事などよく協力してくれる。

6 評価・分析

芦安地区学校関係者評価委員会において、「芦安中学校グランドデザイン」「学校経営方針」に沿って行われた自己評価（職員・生徒）の項目から、調和のとれた教育活動が進められていることが確認できた。評価が高かった項目は今後も伸ばしていき、課題となった項目については、2学期以降の重点指導項目として、改善に努めていってほしい。

- (1) 学習指導については、少人数という学校の特色を活かして、基礎学力の定着や学力の向上をめざして、授業改善や個に応じた指導を行い、今後も「まなびの時」「補習学習」の充実を図ってほしい。また、家庭との連携を図り、家庭学習の習慣化に努めてほしい。
- (2) 全校登山、夜叉神太鼓、バトミントンなど少人数を生かした教育や芦安地区の自然・環境を生かした教育など特色ある学校づくりを今後も推進していってほしい。また、本年度から始まった英会話科を中心に小中連携を進めていってほしい。
- (3) 芦安中の生徒にとって必要な力は何かを考え、学力の定着や主体的に活動できるための各種行事等、教育活動の精選や改善を図ってほしい。